

小学校理科教材の検討 ←題名は16ポイント、太字ゴシック

アブラナ科の花のつくりの観察について ←副題は14ポイント、太字ゴシック

○北海 太郎^A, 浜梨 カオル^B, 丹頂 麻衣^C ←氏名・所属は10.5ポイント、明朝使用
HOKKAI Taro, HAMANSU Kaoru, TANSHO Mai ←10.5ポイント、明朝

北海大学^A, 稚内市立岬小学校^B, 釧路町立芦原小学校^C ←10.5ポイント、明朝

【キーワード】 小学校理科, 教材開発, 花のつくり ←5語以内、10.5ポイント、明朝
標題と本文は1行開ける。本文は、2段組とする。

1 目的 ←10.5ポイント、太字ゴシック

小学校における生物学習は、
(↑本文は10.5ポイント明朝。行間は1行を標準とするが、微調整はかまわない。)

田中(2006)は・・・と指摘している¹⁾。

2 方法 ←10.5ポイント、太字ゴシック

(1) 教材研究 ←10.5ポイント、太字明朝
教材研究を行った。授業時間数は表1

に示す。 ↓9ポイント、太字明朝

表1 学習指導要領中の教科の時間数

1) アブラナの花のつくり ←10.5ポ、明朝
アブラナの花のつくりを模式的に表すと次のようになる。

① めしべ

めしべのつくりをここに示す。

② おしべ

2) ダイコンの花のつくり ←10.5ポ、明朝

(2) 実験方法 ←10.5ポイント、太字明朝
実験の過程は・・・。

3 結果 ←10.5ポイント、太字ゴシック

以上の結果は～～であった。

.....
.....

この実験中の様子を図1に示す。児童はアブラナやダイコンの花の観察から・・・。



図1 実験中の様子 ←9ポイント、太字明朝

これらの結果を整理すると表2のようである。

表2 回答者数 ←9ポイント、太字明朝

4 考察 ←10.5ポイント、太字ゴシック

これからの理科教育において、実験観察という事実を通して仮説を導出し、その後適用をしながら概念を獲得するようにしていくと・・・。

北海大学附属中学校(2006)は、.....と述べている²⁾。

5 まとめ ←10.5ポイント、太字ゴシック

本研究では.....のことが明らかになった。

参考文献 ←10.5ポイント、太字ゴシック

- 1) 田中一郎(2006)『これからの生物教育』石狩出版。
- 2) 北海大学附属中学校(2006)「身近な生物を題材とした理科授業の在り方について」 北海大学紀要, Vol.1, No.2, pp. 24-46。

↓下の余白は30ミリとる